FIA International Rally

2022 年全日本ラリー選手権第 7 戦

RALLY HOKKAIDO

特別規則書

草案

Ver.1.2

目次

1. プログラム
2. 概要及び組織
3. 参加申し込み
4. レッキ
5. タイヤ
6. 参加車両及び安全装置
7. 広告及びラリープレート
8. 燃料
9. 参加確認および書類検査
10. 公式車両検査・マーキング及びシーリング
11. ラリーの進行
12. 車両の整備作業
13. 賞典
14. 再車検及び抗議
15. 選手権外オープンクラス
16. その他
17. 新型コロナウイルス(Covid-19)感染予防対策
18. 本規則の解釈

細則 1　アイテナリー
細則 2　レッキスケジュール
細則 3　CRO の氏名及び行動予定
細則 4　広告・ゼッケン
細則 5　スタートシグナル
細則 6　HQ レイアウト

公　示

FIA International Rally / 2022 年 JAF 全日本ラリー選手権第 7 戦「RALLY HOKKAIDO」は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとに FIA 国際モータースポーツ競技規則およびその付則、2022 年 FIA 地域ラリー競技規則、FIA 規則に準拠した日本自動車連盟(JAF)の国内競技規則およびその細則、2022 年日本ラリー選手権規定、2022 年全日本ラリー選手権統一規則、ラリー競技開催規定、2022 年 XCR スプリントカップ北海道シリーズ規定および本競技会特別規則に従い、国際競技及び国内競技として開催される。

1.　プログラム

エントリー受付開始	2022 年 07 月 11 日(月)　10 時 00 分
エントリー受付締切日	2022 年 08 月 10 日(水)　18 時 00 分
ロードブックおよびルートマップの発行	2022 年 09 月 04 日(日)　10 時 00 分
各チームへのサービスパークオープン	2022 年 09 月 07 日(水)　12 時 00 分

ラリーHQ 開設時間

2022 年 09 月 08 日(木)　09 時 30 分～18 時 00 分
2022 年 09 月 09 日(金)　06 時 30 分～19 時 00 分
2022 年 09 月 10 日(土)　05 時 30 分～19 時 50 分
2022 年 09 月 11 日(日)　05 時 30 分～16 時 10 分

メディアセンター開設時間

2022 年 09 月 08 日(木)　13 時 00 分～18 時 00 分
2022 年 09 月 09 日(金)　08 時 30 分～13 時 30 分
2022 年 09 月 10 日(土)　08 時 30 分～19 時 00 分
2022 年 09 月 11 日(日)　08 時 00 分～16 時 10 分

公式掲示板設置

場所: ラリーHQ　(北愛国交流広場)
日時: 2022 年 09 月 08 日(木)　09 時 30 分～

車検スケジュールの公示

場所: 公式掲示板(ラリーHQ)
日時: 2022 年 09 月 08 日(木)　09 時 30 分

レッキ受付

場所: 北愛国サービスパーク　(北愛国交流広場)
日時: 2022 年 09 月 08 日(木)　10 時 00 分～11 時 30 分

参加確認及び書類検査、サービス受付

場所: 北愛国サービスパーク　(北愛国交流広場)
日時: 2022 年 09 月 09 日(金)　08 時 30 分～10 時 30 分

レッキ

日時: 2022 年 09 月 08 日(木)　12 時 00 分～18 時 10 分
2022 年 09 月 09 日(金)　07 時 00 分～08 時 20 分
レッキスケジュールは、付則 2 を参照のこと

公式車両検査・マーキング・シーリング

場所: 北愛国サービスパーク(北愛国交流広場)　公式車検場
日時: 2022 年 09 月 09 日(金)　08 時 30 分～13 時 30 分

第 1 回審査委員会

場所: 審査委員会室　(北愛国交流広場)

日時: 2022 年 09 月 09 日(金)　13 時 45 分～

レグ 1 スタートリストの公示

場所: 公式掲示板　(ラリーHQ)

日時: 2022 年 09 月 09 日(金)　14 時 30 分

ラリーショー

場所:　帯広市西 2 条南 11 丁目　駅北多目的広場および平原通り

日時:　2022 年 09 月 09 日(金) 14 時 30 分～15 時 30 分

セレモニアルスタート

場所:　帯広市西 2 条南 11 丁目　駅北多目的広場および平原通り

日時:　2022 年 09 月 09 日(金) 15 時 45 分～

（＊ラリーショーおよびセレモニアルスタートは COVID-19 の感染拡大の状況により、行わない場合がある。）

ラリースタート

場所: 北愛国サービスパーク

日時: 2022 年 09 月 10 日(土)　06 時 00 分～

リスタートの出走申請締切

場所: 競技会事務局　(ラリーHQ)

日時: 2022 年 09 月 10 日(土)　17 時 30 分

リスタート申請を行ったコンペティターは 9 月 10 日(土)の 19:40 まで又は 9 月 11 日(日)の 05:00～05:30 に車両の再検査を受けなければならない。また、再検査に合格した後、当該車両を Leg2 の先頭号車スタートの 30 分前までにパルクフェルメに持ち込まれなければならない。

レグ 2 スタートリストの公示

場所: 公式掲示板　(ラリーHQ)

日時: 2022 年 09 月 10 日(土)　18 時 30 分

ラリーフィニッシュ及び暫定表彰式

場所: 北愛国サービスパーク

日時: (国際クラス)　2022 年 09 月 11 日(日)　13 時 17 分～

日時: (全日本クラス) 2022 年 09 月 11 日(日)　14 時 07 分～

再車検

場所: 北愛国サービスパーク

日時: (国際クラス)　2022 年 09 月 11 日(日)　13 時 45 分～

日時: (全日本クラス) 2022 年 09 月 11 日(日)　14 時 35 分～

暫定結果の公示

場所: 公式掲示板　(ラリーHQ)

日時: (国際クラス)　2022 年 09 月 11 日(日)　14 時 45 分(予定)

日時: (全日本クラス) 2022 年 09 月 11 日(日)　15 時 35 分(予定)

2.　概要及び組織

2.1　競技会の名称

FIA International Rally

2022 年 JAF 全日本ラリー選手権第 7 戦
「RALLY HOKKAIDO」

2.2　競技の格式

国際格式：　FIA Internationmal Rally クラス
国内格式：　2022 年 JAF 全日本ラリー選手権クラス、オープンクラス
JAF 公認番号: TBA

2.3　競技種目

FIA 地域ラリー選手権規則ならびに JAF 国内競技規則、ラリー競技開催規定細則「スペシャルステージラリー開催規定」に従ったスペシャルステージラリー

2.4　開催日程及び開催場所

日程: 2022 年 09 月 9 日(金)～11 日(日)の 3 日間
場所: 北海道十勝地方
ラリースタート:　　北愛国サービスパーク (北愛国交流広場)
ラリーフィニッシュ:　北愛国サービスパーク (北愛国交流広場)

2.5　ラリー北海道大会本部

・大会前
　ラリー北海道大会事務局
　住所: 〒003-0022　北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9
　TEL: 011-864-2003　　FAX: 011-864-1182
・大会開催中 [09 月 08 日(木曜日)～11 日(日曜日)]
　ラリーHQ
　場所: 北愛国交流広場
　住所: 〒089-1181　北海道帯広市愛国町 10-1
　TEL:　TBA　　FAX:　TBA

2.6　コース概要

スペシャルステージの路面はグラベル(95%)一部ターマック(5%)
LEG1：グラベル 80.35km、ターマック 5.58km
LEG2：グラベル 21.33km、ターマック 0km

総走行距離:	683.51km
スペシャルステージの総走行距離:	107.26km
スペシャルステージの数:	10
セクションの数:	4
レグの数	2

2.7　オーガナイザー(主催者)

名称:　AG.メンバーズスポーツクラブ北海道(JAF 公認クラブ No.01001)
所在地:　〒003-0022　北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9 邦明ビル

代表:　田畑　邦博
事務局長:　小池　治郎
TEL: 011-864-2003　FAX: 011-864-1182
E-mail: info@rally-hokkaido.com　Website: www.rally-hokkaido.com

2.8　大会組織

大会組織委員会

組織委員長	田畑　邦博
副組織委員長	槙田　龍史
組織委員	米澤　　章
組織委員	小池　治郎

競技会審査委員会

・国際

競技会審査委員長	恒松　雅彦
競技会審査委員	宮城　孝仁

・全日本ラリー選手権

競技会審査委員長	宮城　孝仁 (JAF 派遣)
競技会審査委員	七田　定明 (JAF 派遣)
競技会審査委員	恒松　雅彦 (組織委員会任命)
JAF オブザーバー	船越　　潤
JAF オブザーバー	後藤　茂行

競技役員

競技長(COC)	槙田　龍史
コース委員長	若松　勝仁
計時委員長	永井　　真
技術委員長	石川　和男
救急委員長	米澤　　章
医師団長	野田　　健
メディアオフィサー	河野　　功
リグループコーディネーター	西尾　雄一
競技会事務局長	小池　治郎
セクレタリー	新井野美恵子

選手リレーション役員

コンペティターズ・リレーションズ・オフィサー(CRO)
嘉屋　賢二

3.　参加申し込み

3.1　参加申込受付期間

エントリー受付開始:	2022 年 07 月 11 日(月) 10 時 00 分
エントリー受付締切日:	2022 年 08 月 10 日(水) 18 時 00 分

3.2　参加申込方法

ラリー北海道に参加を希望する場合は、参加申込書に正しく記入し、郵送または E メールにて、参加料の振り込みの証明を添えて 2022 年 08 月 10 日(水) 18 時 00 分までに大会事務局宛に必着のこと。

ラリー北海道大会事務局
〒003-0022　北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9 邦明ビル
TEL: 011-864-2003
FAX: 011-864-1182
E-mail: entry@rally-hokkaido.com
Website: www.rally-hokkaido.com
参加申込書を E メールで送付する場合、署名入りの原本は参加確認受付終了までに提出しなければならない。

参加申込に必要な書類

・エントリーフォーム
・エントリーブックレット
・自動車検査証の写し
・ドライバーおよびコドライバーの競技ライセンスと運転免許証の写し
・ラリー競技に有効な自動車保険(任意保険)の写し(対人・対物の金額がわかるもの)
・ラリー競技に有効な搭乗者保険の写し
・ドライバー、コドライバーの胸から上の顔写真、参加車両の画像

3.2.1　エントリー料金

国際クラス	230,000 円
全日本選手権クラス(JN-1～JN-4)	230,000 円
全日本選手権クラス(JN-5, JN-6)	220,000 円
オープンクラス	200,000 円

（全クラス、オーガナイザーのオプション広告を拒否する場合、追加料金 100,000 円を課す）

3.2.2　追加料金

補助車両通行証	10,000 円
サービスクルーパス	6,000 円

3.2.3　エントリー費に含まれるもの

● ロードブック x1 ● 公式プログラム x1 ●競技車両用ゼッケンセット x1
● 競技者パス x2 ● サービスクルーパス x4 ● サービス車両通行証 x2
● サービスパークスペース 7.5x5m ● レッキセット(レッキ指示書等)x1
● ウルト ドライバーズキットミニ x1

3.2.4　エントリー料金の支払方法

エントリー料金は、以下の預金口座に銀行振込によって支払うこと

銀行名:	北海道銀行
支店名:	流通センター前支店
口座番号:	普通預金 1064661
口座名義:	ラリー北海道大会組織委員会

3.2.5　エントリー料金の返金

エントリー料金は次の場合、事務手数料として 2,000 円を差し引き参加費用を返金する。

(a)エントリーが受理されなかった場合。

(b)ラリーが開催されなかった場合。

3.3　保険

ラリー競技に有効な対人賠償保険 5000 万円以上及び対物保険 500 万円以上、ならびに搭乗者保険 1000 万円以上(又は共済)に加入していること。

3.4　参加台数

参加台数の上限は、国際クラスを含め 90 台とする。

オーガナイザーは、国際モータースポーツ競技規則 3.17 条および国内競技規則 4-19 に従って、エントリーを拒否する場合がある。

3.5　クラス区分

国際クラス：

参加可能な車両は 2022 年 FIA 地域ラリー競技規則 12 条及び 2022 年 FIA 地域ラリー競技規則 V4(APRC)の 12 条に適合する車両であり、車両クラスは 2022 年 FIA 地域ラリー競技規則 12.1 条に示される。また、2022 年 FIA 地域ラリー競技規則 12.3 条および同規則 V4(APRC)12.3 条に示される、ASN(JAF)により承認を受けた車両も参加する事ができる。

全日本選手権クラス：

2022 年日本ラリー選手権規定第 8 条「クラス区分」に従って区分される。

オープンクラス：

本規則書第 15 条に示す。

4.　レッキ

4.1　レッキ受付手続き

レッキに参加する全ての参加者はレッキ開始の前にレッキ車両を登録しなければならない。レッキ受付の際、クルーまたはチーム員はレッキサインカード及び車両識別カードを受取ること。

4.2　スケジュール

レッキスケジュールの詳細については細則 2 に従うこと。

4.3　クルーの厳守事項

4.3.1　各クルーは、レッキの間、左のリアサイドウィンドウに車両識別カード(パス)を貼付しなければならない。このパスは各スペシャルステージにおいて 2 回通過するのに有効であり、レッキ用車両に常に貼付されていなければならない。また、各スペシャルステージのスタートのオフィシャルによるチェックを受けなければならない。

4.3.2　各クルーは、各スペシャルステージを 2 回走行することができる。但し、同じ区間を重複使用するスペシャルステージは 1 つのステージとして 1 ヶ所で 2 回までの走行とする。

4.3.3　レッキの間、競技者は交通法規を遵守しなければならず、さらに特別規則書や公式通知で通知されるオーガナイザーのいかなる指示にも従わなければならない。いかなる場合も、他の道路使用者

の安全と権利を尊重しなければならない。オフィシャルはレッキのルート上で競技車の動作を目視または計測機器・写真・ビデオ等によって監視することがある。すべての違反は大会審査委員会に報告され、スタート不可までの罰則を科す場合がある。

4.3.4　レッキ中スペシャルステージおよびすべての道路において法定速度を超えてはならない。これに違反した場合は大会審査委員会によって罰則を科する。

4.3.5　レッキ用タイヤ

レッキに競技用タイヤを使用する場合は 5 分山以下のタイヤのみ許される。エンジンオイルパンを保護するアンダーガードを装着していない車両については、その限りではない。

5.　タイヤおよびホイール

5.1　タイヤ

国際クラス：

タイヤの使用本数制限を行わない。タイヤマーキングは行わない。

全日本選手権クラス：

本競技会で使用できるタイヤの本数は 14 本までとする。

本競技会では一般的に国内販売しているスノータイヤ(「M+S」、「M・S」、「M&S」の表示があるタイヤ)を使用する事。また、JAF の承認を得て「M+S」、「M・S」、「M&S」の表示のないスノータイヤを使用する事ができる。ただしこの場合、競技参加者は本競技会の 2 ヶ前までに JAF に申請を行う事。

本競技会では、使用する全てのタイヤのサイドウォールに競技車両番号をマーキングする。併せてスペアタイヤについてはトレッド面にもマーキングを施すものとする。なお、当該競技会中における未使用のタイヤについては、技術委員長の許可を得る事により、新たにマーキングされた他のタイヤへの交換が許される。

オープンクラス：

タイヤの使用本数制限を行わない。タイヤマーキングは行わない。

詳細は本規則 15 条に示す。

5.2　ホイールサイズ

国際クラスおよびオープンクラス：

各車両規定に従う事。

全日本選手権クラス：

装着するホイールは、車両の総排気量に従って定められる下記の最大直径および最大幅を超えていないこと。ただし、同一車両型式のカタログに記載されているホイールの直径および幅が下記の数値を超えている場合は、カタログに記載されている数値を最大値とする。

- 総排気量 1,400cc 以下の車両：最大直径 14 インチ、最大幅 6 インチ
- 総排気量 1,400cc を超え 2,000cc 以下の車両：最大直径 16 インチ、最大幅 7 インチ
- 総排気量 2,000cc を超える車両：最大直径 17 インチ、最大幅 7.5 インチ

6.　参加車両及び安全装備

6.1　国際クラス：

本規則書 3.5 条「国際クラス」の定義に合致する車両。

全日本クラス：

2022 年日本ラリー選手権規定 第 7 条に従った車両。

オープンクラス：
本規則書 15 条に合致する車両。

6.2 正規の自動車登録番号票が交付されており、自動車検査証及び自賠責保険証を有していること。または、「自動車カルネおよび登録証書」を有する車両、運行目的が「ラリー競技会への参加」である臨時運行許可証および番号標を有する車両。

6.3 排気ガス(ガソリン車：CO.HC、ディーゼル車：黒煙)、排気音が各車両規定の規定値を満たしていること。

6.4 国際クラス：
クルーは FIA 国際モータースポーツ競技規則付則 L 項第 3 章に従った装備品を着用する事。
全日本およびオープンクラス：
クルーは、2022 年国内競技車両規定第 4 編付則ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する付則に従ったヘルメット、FHR システム及びレーシングスーツを着用すること。さらに、4 点式以上のシートベルトを保持装備すること。

6.5 参加車両には非常用三角停止表示板(三停板)2 枚、非常用信号灯、赤色灯、牽引用ロープ、救急薬品、OK/SOS カード、各車両規定に従った消火器を搭載すること。

6.6 日本国内で使用が認められている携帯電話以外の無線装置の車両持ち込み、装備を禁止する。

6.7 公示 No.2022-WEB017 に従い、全日本選手権 JN-1 クラスの対象車両に対して性能調整を実施する。

7. 広告及びラリープレート

7.1 ウインドウ、屋根を含む車体への広告が許される。

7.2 任意広告
参加者は本規則書細則 4 に従って広告スペースを確保しなければならない。

7.3 ラリープレート及びゼッケン
オーガナイザーは各クルーに対しラリープレートとゼッケンパネル一式を支給する。これらは本規則書付則 4 に従って車両に取付けなければならない。これに違反した場合は罰金 55,000 円を科す。

8. 燃料

ラリー中の給油は、ロードブックに示されるオーガナイザー指定ガソリンスタンドにおいてのみ行う事ができる。国際クラスに限り、FIA 燃料の使用が認められる。

8.1 FIA 燃料
FIA 燃料を使用する場合は、FIA 国際モータースポーツ競技規則の付則 J 項 252.9 条に適合した FIA 燃料の使用が認められる。FIA 燃料は各自で用意し、チーム員は規則書 8.3 条に示すオーガナイザーが指定した場所まで燃料を持参しなければならない。

8.2 燃料注文
ポンプ燃料(ガソリンスタンドにて備え付けの給油機から提供される、一般向けに販売されている燃

料)を使用する場合、事前注文の必要はない。

8.3　給油場所

ラリー中の給油は、FIA 燃料・ポンプ燃料のいずれも、ロードブックに示されるオーガナイザー指定ガソリンスタンドにおいてのみ行う事ができる。なお、ゼッケン番号により異なるガソリンスタンドが割り当てられる場合がある。

FIA 燃料を使用する場合、指定ガソリンスタンドの指定エリア内で給油しなければならない。

FIA 燃料を使用する場合及び、FIA 公認の燃料安全タンクを使用する車両は、チーム員 2 名までによる給油場所への立ち入りを認める。ただし、給油作業支援の目的に限り、それ以外の支援を行ってはならない。

指定ガソリンスタンド

Leg1:

・石橋石油 陸別店(Shell)　住所：陸別町字陸別東 1 条 1-7
・YS ヤマショウ 足寄店(ENEOS)　住所：足寄町南 6 条 1 丁目 22
・熱源帯広 足寄店(ENEOS)　住所：足寄町南 4 条 1 丁目 2

Leg2:

・YS ヤマショウ 足寄店(ENEOS)　住所：足寄町南 6 条 1 丁目 22
・熱源帯広 足寄店(ENEOS)　住所：足寄町南 4 条 1 丁目 2

8.4　公式車検後からラリースタートまでの間の給油について

ラリー前公式車検終了後からラリースタートまでの間、一般燃料を使用する参加者の給油は、下記の指定ガソリンスタンドのみで行う事ができる。

指定ガソリンスタンド

・スーパーピット 中央店(ENEOS)　住所: 帯広市西 8 条南 9 丁目 10
・スーパーピット 緑ヶ丘店(ENEOS)　住所: 帯広市西 8 条南 17 丁目 4

9.　参加確認および書類検査

指定されたスケジュールに従って公式車両検査の前に参加確認および書類検査を行なわなければならない。

9.1　必要(提出)書類

(a) エントラントライセンス
(国際クラス以外で、競技運転者が参加者を兼ねる場合は不要。)
(b) ドライバー、コ・ドライバーの競技ライセンス
(c) ドライバー、コ・ドライバーの運転免許証
（海外の運転免許証所持者は日本で有効な運転免許証が必要）
(d) 自動車車検証
（海外登録の車両は当該車両登録国が発行する FIA(AIT)カルネの証明書。臨時運行許可取得車両は臨時運行許可証。）
(e) 自賠責保険証書
(f) ラリー競技に有効な自動車保険証券
(g) 海外のライセンス保持者はパスポートまたは身分証明書
(h) 海外のライセンス保持者は ASN 発行の競技参加許可証又は ASN の確認印を得た参加申込書

9.2　参加確認および書類検査日程

場所・日時は本規則書 1 条「プログラム」に定める。

10. 公式車両検査・マーキング及びシーリング

全参加車両は 2022 年 09 月 08 日(木) 09 時 30 分に公式掲示板にコミュニケーションで発表されるスケジュールに従って公式車両検査を受けなければならない。スペアを含むギアボックスとディファレンシャルのマーキング、過給器付車両の過給機のシーリングも同時に行われる。
FIA 公認の燃料安全タンクを使用する車両は、給油用アダプターを提示しなければならない。

10.1 車載カメラの取り付け

車載カメラを取り付ける場合は車体の中側・外側を問わず公式車両検査までに取り付けられていなければならない。公式車検時に車検員により許可ステッカーが貼付けされる。許可の無いカメラでの撮影を禁止する。また、このカメラで撮影された映像の版権はオーガナイザーに帰する。参加者はオーガナイザーより画像の提出を求められる場合がある。

11. ラリーの進行

11.1 ラリーショー及びセレモニアルスタート

（＊ラリーショーおよびセレモニアルスタートは COVID-19 の感染拡大の状況により、行わない場合がある。）

全選手は2022年09月09日(金)14時30分から駅北多目的広場および平原通りにおいて行なわれるラリーショーと、その後連続して行なわれるセレモニアルスタートに参加しなければならない。選手はレーシングスーツを着用の上、コミュニケーションにて発表されるスケジュールに基づき、オフィシャルの指示に従って指定場所に車両を移動すること。ラリーショーは14時30分から15時30分まで開催される。ラリーショー終了後はオフィシャルの指示に従い、各車は指定場所からセレモニアルスタート会場に車両を順次移動すること。セレモニアルスタートの後、コミュニケーションの指示に従って車両をサービスパークに戻すこと。 何らかの理由により車両を参加させることができない場合は、競技長の許可を受けた場合に限り、選手のみの参加とすることができる。この場合もレーシングスーツを着用すること。

11.2 暫定表彰式

暫定表彰式は北愛国サービスパークで行なわれる。

11.3 アーリーチェックイン

4A, 4C, 7A, 7C, 9A, 9C, 10A, 10B の TC の早着についてはペナルティーの対象としない。但し、全ての区間と同様に道路交通法を尊守すること。

11.4 タイムカードの交換

タイムカードは各セクションの最終 TC にて回収され、各セクションの最初の TC にて新たなタイムカードがオフィシャルによって手渡される。

11.5 スタート前のパルクフェルメ

スタート前のパルクフェルメは設置しない。

11.6　スペシャルステージのスタートシステム

スペシャルステージのスタート合図に電気式カウントダウンシステムを使用する。また、このシステムに同調したフライングチェックシステムを使用する。スタート信号表示の説明は、本規則書細則 5 を参照のこと。システム故障の場合は、FIA 地域ラリー選手権規定 48.3 に従ったスタート方法とする。

フライング検知装置の設置位置はスタートラインの先 50cm とする。

11.7　スペシャルステージのタイム計測

計測は、印字機能を持つクロノメーターにて 1/10 秒まで計測する。

11.8　スタート間隔

基本的にスタート順はスタートリストまたは直前の TC 通過順に従い行う。オーガナイザーが認めた車両は、2 分または 3 分以上間隔を空けてスタートする。その他の車両は 1 分間隔とする。

11.9　オフィシャルタイム

全日程を通して使用する基準時刻は日本標準時を基準とした競技会計時委員の時計による。（GMT+9 時間）

11.10 オフィシャルの識別

ポストチーフおよびマーシャルは以下の服装により識別される。

ポストチーフ	青色のタバードに白文字
ポストマーシャル	オレンジ色のタバードに白文字
スペシヤルステージコマンダー	緑色のタバードに黄色文字
SOS ラジオマーシャル	黄色のタバードに黒マーク
チーフスペクテーターマーシャル	赤色のタバードに黄色文字
スペクテーターセーフティマーシャル	赤色のタバードに白文字
セーフティマーシャル	赤色のタバードに白文字
ドクター	緑色のベストに白文字
メディカル要員	緑色のタバードに白十字
選手リレーション役員(CRO)	黄色のタバードに黒文字
技術委員	黒色のタバードに黄色文字
公式メディア	青色のタバードに黒文字で FIELD MEDIA
その他のオフィシャル	オフィシャルウエアまたはクレデンシャル

12.　車両の整備作業

12.1　競技中の車両整備は、アイテナリー並びにロードブックで定めるサービス会場で、各車両に定められたサービス時間内に行われるもののみ認められる。ただし、外部からの援助を受けることなく、クルー自らが車載の道具類のみを使用して作業を行う場合はこの限りではない（コントロールエリアおよびパルクフェルメは除く）。

サービス会場：北愛国サービスパーク及び陸別サービス

12.2　整備作業の監督を担当する競技役員

技術委員長: 石川　和男

12.3　車輌整備の範囲

サービスパークでの車輌整備の範囲は下記の通りとする。

(1)タイヤの交換

(2)ランプ類のバルブの交換

(3)点火プラグの交換

(4)V ベルトの交換

(5)各部点検増締め

(6)上記以外に作業員の安全を十分確保することを条件に、競技会技術委員長が許可した項目

12.4　サービスカーの管理方法

サービス会場に乗り入れることが出来るサービスカーは事前登録制とする。登録したサービスカーにはオーガナイザーより配布されるサービス車両通行証を大会期間中を通して貼り付けておく事。なお、1 枚の通行証を複数の車両で共有することを固く禁ずる。

13.　賞典

国際クラス：

総合成績　第 1 位ドライバーとコ・ドライバーにトロフィーまたは楯、副賞
第 2 位ドライバーとコ・ドライバーにトロフィーまたは楯、副賞
第 3 位ドライバーとコ・ドライバーにトロフィーまたは楯、副賞

クラス表彰 各クラス第 1 位ドライバーとコ・ドライバーにトロフィーまたは楯、副賞

全日本選手権クラス：クラス表彰

JN-1 クラス:　1～3 位 JAF 盾、主催者楯、副賞　4～6 位　主催者楯、副賞
JN-2 クラス:　1～3 位 JAF 盾、主催者楯、副賞　4～6 位　主催者楯、副賞
JN-3 クラス:　1～3 位 JAF 盾、主催者楯、副賞　4～6 位　主催者楯、副賞
JN-4 クラス:　1～3 位 JAF 盾、主催者楯、副賞　4～6 位　主催者楯、副賞
JN-5 クラス:　1～3 位 JAF 盾、主催者楯、副賞　4～6 位　主催者楯、副賞
JN-6 クラス:　1～3 位 JAF 盾、主催者楯、副賞　4～6 位　主催者楯、副賞

オープンクラス：クラス表彰

OP-1 クラス　1～3 位　主催者楯、副賞
XC-1 クラス　1～3 位　主催者楯、副賞
XC-2 クラス　1～3 位　主催者楯、副賞
XC-3 クラス　1～3 位　主催者楯、副賞

※ 但し、JAF 盾を除き表彰対象者数は当該クラス参加台数の 30%を下回らない範囲で賞典の制限を行なう場合がある。その場合の対象者数は公式プログラムに記載する。

14.　再車検及び抗議

14.1　再車検

再車検には、クルー、メカニック又はチーム員が立会わなければならない。

場所: 北愛国サービスパーク　(車検エリア)

日時: 本規則書第 1 条に定める。

14.2　抗議料金（国際クラス）

FIA への抗議料金は、1,000 ユーロ（又はその日の為替レートでの US ドルでの相当額）とし、現金または銀行振込で納付しなければならない。銀行振込の場合には証明書類を抗議書に添える事。(参照：2022 年 FIA 地域ラリー競技規則 65.2 条)

抗議が車両のパーツを明白に指定し、その取り外しや再取り付けを必要とする場合、FIA テクニカルデリゲート/技術委員長の提案を基に審査委員会が指定する追加の保証金を納付しなければならない。この追加の保証金はオーガナイザーに対して 1 時間以内に現金または銀行送金にて納付しなければならない。抗議及び上告については、2022 年 FIA 地域ラリー競技規則 65 条を参照する事。

控訴料金：FIA への国際控訴料金は、3,000 ユーロである。

14.3　抗議料（全日本選手権クラス・オープンクラス）

参加者は、自分が不当に処遇されていると判断した場合、国内競技規則第 12 条に従い、抗議する権利を有する。抗議料は、53,300 円である。

抗議が車両部位の分解および再組立を含むものである場合、その申立者が支払う保証金は 55,000 円である。

15.　選手権外オープンクラス

15.1　オープンクラスの参加資格

オープンクラスに参加するドライバー・コドライバーは参加車両を運転するのに有効な運転免許証及び JAF 発行の 2022 年度競技運転者許可証の国内 B 以上を保有していること。

15.2　クラス区分

オープン 1 (OP-1) :

JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定に準じた安全規定を満たした車両で、6 点式+左右のドアバー以上のロールケージを装着した車両。

オープン XC1, 2, 3 (XC-1,XC-2,XC-3):

JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定に従った RF 車両の安全装備を満たした「2022 年 XCR スプリントカップ北海道シリーズ規定」を満たした車両。

15.3　タイヤ

オープン 1 クラスは、タイヤ本数および銘柄の指定を行わない。

オープン XC-1、XC-2、XC-3 クラスの使用タイヤは「2022 年 XCR スプリントカップ北海道シリーズ規定」に示すタイヤに限定する。 これ以外のタイヤを希望する場合は主催者に確認し承認を得る事。

16.　その他

16.1　本競技会はドライバーズブリーフィングを行わない。クルーに対する指示事項が生じた場合は、公式通知にて発表する。

16.2　リスタート

リスタートについて、国際クラスに関しては FIA 地域ラリー規定 54 条に、全日本選手権クラスおよびオープンクラスは 2022 年全日本ラリー選手権統一規則第 3 章第 16 条に従う。

16.3　ラリー競技開催規定に関するコントロールの手順と機能、コントロールのスタート時刻、スペシャ

ルステージラリーの運営、統一書式等については 2022 年 FIA 地域ラリー規則に定められた方法にて行う。

なお、スペシャルステージ内にて停止した際、OK/SOS カードを何かしらの理由で提示できない場合には、全クラスとも可能な限り FIA 地域ラリー規則 53.3.5 に従ったジェスチャーを行う事。これに対応できたにも関わらず行わなかったクルーについては審査委員会に報告される。

17. 新型コロナウイルス(Covid-19)感染予防対策

17.1 特別措置

選手がエントリー申し込み後に Covid-19 に罹患した場合、罹患が疑われる場合、またはサービスパーク入場時の検温等の体調確認で入場が許可されなかった場合、オーガナイザーは参加を拒否する場合がある。

サービスパークへの入場が許可されなかった場合は、最寄りの医療機関で検診を受ける事。

サービス会場入場者管理の為、選手以外のチーム員は全員、事前にサービスクルー登録またはチーム員登録を行わなければならない。会場内では常にパスを身につけること。

レッキ受付開始以後、クルー・サービスクルー・チーム員に発熱など COVID-19 感染の可能性がある症状がみられた場合、直ちに競技長または CRO に電話等で報告を行い、その指示に従う事。

17.2 予防対策

・サービスパーク入口で検温等の体調確認を行い、感染が疑われる場合は入場が認められない場合がある。なお、この確認を拒否し入場した場合は、競技長に報告され、チーム員全員の退去が命ぜられる場合がある。

・会場内(車外)ではマスクを着用すること。

・主催者が指示する Covid-19 感染予防に関する各種指示に従った行動をすること。

18. 本規則の解釈

本規則及び競技に関する諸規則の解釈についての疑義が生じた場合は、競技会審査委員会の決定をもって最終とする。

細則１　アイテナリー

Rally Hokkaido 9-11 Sep. 2022

Itinerary

Int' l　JRC

Start Leg 1　　**Saturday 10 September 2022**

TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
0	Start Leg 1 - (Kita Aikoku)					6:00
1			102.67	102.67	1:59	7:59
SS1	***RIKUBETSU LONG 1***	***4.63***				***8:02***
RZ	Remote Refuel - Rikubetsu-Ishibashi Gas Station (Shell)			[1.60]		
1	Distance to next refuel	(36.02)	(79.75)	(115.77)		
2			12.36	16.99	0:33	8:35
SS2	***YAM WAKKA 1***	***23.49***				***8:38***
3			41.34	64.83	1:18	9:56
SS3	***NUPRIPAKE 1***	***12.53***				***9:59***
RZ	Remote Refuel - Rikubetsu-Ishibashi Gas Station (Shell)			[27.65]		
2	Distance to next refuel	(28.12)	(42.56)	(70.68)		
4			30.74	43.27	1:04	11:03
SS4	***RIKUBETSU LONG 2***	***4.63***				***11:06***
4A	Regroup and Technical zone **IN**		0.20	4.83	0:07	11:13
4B	Regroup and Technical zone **OUT** service **IN**					
	Flexi-Service A (Rikubetsu)	**45.28**	**187.31**	**232.59**	**0:20**	
4C	Service **OUT** - Regroup **IN**					
4D	Regroup **OUT**					12:03
5			11.62	11.62	0:25	12:28
SS5	***YAM WAKKA 2***	***23.49***				***12:31***
RZ	Remote Refuel - Rikubetsu-Ishibashi Gas Station (Shell)			[27.65]		
2	Distance to next refuel	(17.16)	(57.09)	(74.25)		
6			14.75	14.75	1:00	13:31
SS6	***RIKUBETSU LONG 3***	***4.63***				***13:34***
7			33.39	38.02	0:49	14:23
SS7	***NUPRIPAKE 2***	***12.53***				***14:26***
RZ	Remote Refuel - Ashoro-YS Yamasho / Netsugen-Obihiro Gas Station (ENEOS) [20.61]					
3	Distance to next refuel	(6.12)	(182.41)	(188.53)		
7A	Regroup and Technical zone **IN**		86.38	98.91	2:04	16:30
7B	Regroup and Technical zone **OUT** service **IN**					
	Flexi-Service B (Kita Aikoku)	**40.65**	**146.14**	**186.79**	**0:45**	
7C	Service **OUT** - Parc Ferme **IN**					
	All cars must be returned to Parc Ferme no later than					(19:40)

Section 1

Section 2

Note 1 : At the 20 min service, crew have a maximum of 25 min to move their cars into the Service Park.

Note 2 : At the 45 min service, crew have a maximum of 50 min to move their cars into the Service Park.

Leg 1 Total	**85.93**	**333.45**	**419.38**

0714ver2.0

Rally Hokkaido 9-11 Sep. 2022

Itinerary

Int' l JRC

Start Leg 2 **Sunday 11 September 2022**

TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
	Start Leg 2 (Kita Aikoku Service Park)					
7D	Parc Ferme **OUT** - Srevice **IN**					6:00
	Service C (Kita Aikoku)				**0:15**	
7E	Srevice **OUT**					6:15
8			29.64	29.64	0:48	7:03
SS8	***OTOFUKE REVERSE 1***	***6.12***				***7:06***
9			69.40	75.52	1:25	8:31
SS9	***PAWSE KAMUY REVERSE 1***	***9.09***				***8:34***
RZ	Remote Refuel - Ashoro-YS Yamasho / Netsugen-Obihiro Gas Station (ENEOS) [20.37]					
4	Distance to next refuel	(15.21)	(126.16)	(141.37)		
9A	Regroup and Technical zone **IN**		83.37	92.46	1:51	10:25
9B	Regroup and Technical zone **OUT** service **IN**					
	Flexi-Service D (Kita Aikoku)	**15.21**	**182.41**	**197.62**	**0:20**	
9C	Service **OUT** - Regroup **IN**					
9D	Regroup **OUT**					11:15
10			29.60	29.60	0:45	12:00
SS10	***OTOFUKE REVERSE 2***	***6.12***				***12:03***
10A	Service **IN**		30.79	36.91	0:44	12:47
	Service E (Kita Aikoku)	**6.12**	**60.39**	**66.51**	**0:10**	
10B	Service **OUT** - Finish-Holding **IN**					12:57
	Podium Finish				0:20	13:17

Section 3

Section 4

Leg 2 Totals	**21.33**	**242.80**	**264.13**	

TOTALS OF THE RALLY				
	SS	**Liaison**	**Total**	**%**
Leg 1(Section 1,2) - 7SS	85.93	333.45	419.38	20.49
Leg 2(Section 3,4) - 3SS	21.33	242.80	264.13	8.08
Total - 10SS	**107.26**	**576.25**	**683.51**	**15.69**

0714ver2.0

細則２　レッキスケジュール

９月８日　(木曜日)

Group A

ステージオープン時間	ステージ名	ステージ No.	コメント
12:30 ~ 15:00	RIKUBETSU LONG	SS1 / SS4 / SS6	２回走行
12:50 ~ 15:30	YAM WAKKA	SS2 / SS5	２回走行
14:50 ~ 17:00	PAWSE KAMUY REVERSE	SS9	２回走行
15:50 ~ 18:10	NUPRIPAKE	SS3 / SS7	２回走行

Group B

ステージオープン時間	ステージ名	ステージ No.	コメント
12:00 ~ 14:00	PAWSE KAMUY REVERSE	SS9	２回走行
13:00 ~ 15:20	NUPRIPAKE	SS3 / SS7	２回走行
14:30 ~ 17:30	RIKUBETSU LONG	SS1 / SS4 / SS6	２回走行
15:00 ~ 17:50	YAM WAKKA	SS2 / SS5	２回走行

９月９日　(金曜日)

全車

ステージオープン時間	ステージ名	ステージ No.	コメント
07:00 ~ 08:20	OTOFUKE REVERSE	SS8 / SS10	２回走行

細則３　CRO の氏名及び行動予定

嘉屋　賢二

Mobile: 090-8372-6889

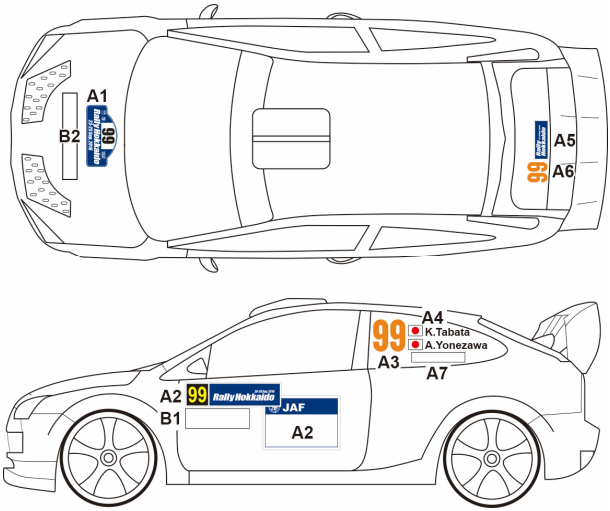
Email: cro@rally-hokkaido.com

コンペティター・リレーションズ・オフィサーの行動スケジュール
下記のスケジュールの他に携帯電話によりラリー中はいつでも連絡をとることができる。

9 月 9 日(金)	
参加確認　(北愛国サービスパーク)	08:30-10:30
公式車検場 (北愛国サービスパーク)	08:30-13:30
セレモニアルスタート(帯広駅前)	15:30-17:00
9 月 10 日(土)	
スタートエリア(TC0)	05:50-07:40
陸別サービス	12:50-15:30
9 月 11 日(日)	
サービスパーク	06:00-08:00
フィニッシュエリア	13:10-15:10

＊　行動予定は変更になる場合があります。

細則４　広告・ゼッケン



以下のラリープレート、ゼッケン、広告ステッカーはオーガナイザーにより用意される(A4 を除く)。それらは上記の図の通り貼付されなければならない。

A1 ボンネットに幅 43cm X 高さ 21.5cm のラリープレート 1 枚

A2（国際クラス）両側フロントドアパネルに幅 67cm X 高さ 17cm (ドアゼッケン番号入り)のドアプレートを各 1 枚。ゼッケン側を前にして窓枠に対し平行に貼付け。窓枠下端からゼッケン上端の間は 7～10cm 空ける。

A2（国際クラス以外）両側フロントドアパネルに幅 42.0 cm X 高さ 29.7cm の JAF ゼッケンを各 1 枚。

A3 左右リアサイドウィンドウの上部に高さ 20cm のゼッケン番号。

A4 リアの両サイドウインドウのゼッケン番号の付近にドライバー(両サイドとも上に配置)とコ・ドライバーの名前とライセンスを取得した ASN の国旗。名のイニシャルと苗字の頭文字を大文字で残りを小文字で示す事(フォントは白のヘルベチィカ)。高さ 6cm(大文字)で線幅を 1.0cm にする。
(A4 は各自で用意し、2022 年 FIA 地域ラリー競技規則 28 条に従って貼付ける事。オーガナイザーから配布はしない)

A5 リアウィンドウの中央底部に幅 30cm X 高さ 10cm のリアプレート 1 枚。

A6 リアプレートに並べて高さ 14cm のゼッケン番号を貼付ける。

A7 左リヤサイドウィンドウに「JAF 公認ラリー競技会之証」1 枚。

B1 オーガナイザーのオプション広告: TBA　(幅 25cm X 高さ 15cm、左右２枚)

B2 オーガナイザーのオプション広告: TBA　(幅 60cm X 高さ 10cm)

オーガナイザーのオプション広告を拒否する場合、追加料金 100,000 円を課す。

細則５　スタートシグナルのシークエンス

45秒前　5個の赤色ランプが点灯

30秒前　4個の赤色ランプが点灯

15秒前　3個の赤色ランプが点灯

10秒前　2個の赤色ランプが点灯

5秒前　1個の赤色ランプが点灯

4秒前　2個の赤色ランプが点灯

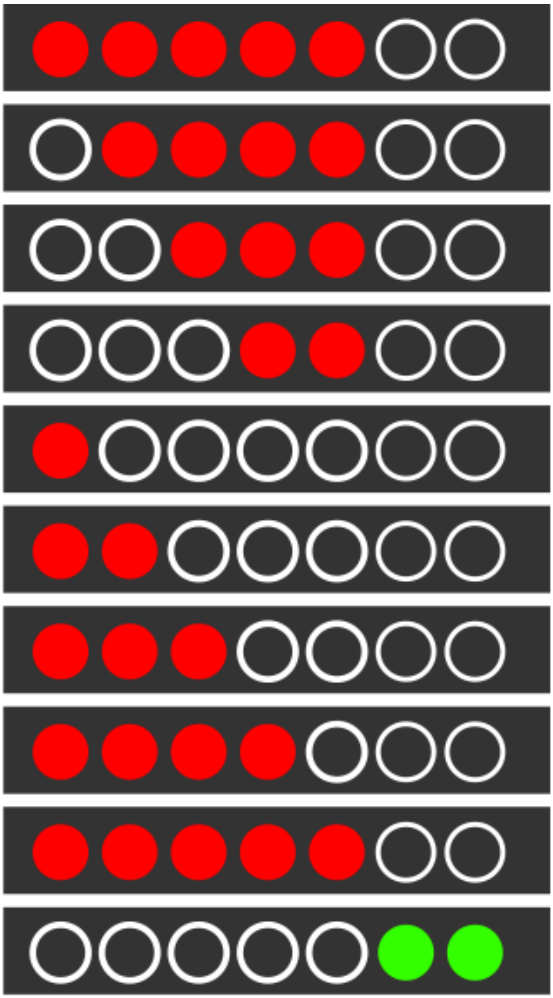
3秒前　3個の赤色ランプが点灯

2秒前　4個の赤色ランプが点灯

1秒前　5個の赤色ランプが点灯

START　2個の緑色ランプが点灯

(20秒間)



細則 6　HQ レイアウト、サービスパークレイアウト

後日、公式通知にて発表する。